

Q3

東日本大震災と今回の地震との関連は？

(5年以上すぎて) まだ地震や津波が続くのはなぜ？

いつまで続くのか？

いつまで注意・警戒しなければいけないのか？

まだ、残された蓄積エネルギーがすべて解放されていないことと、本震などで当時に発生したエネルギーが新たに蓄積されていることなどがあり、今後も余震活動は続くと考えられます。また一方、余震では無いですが、周辺での地震を誘発する可能性もあります

(災害リスク研究部門 今村文彦教授)

広い意味での余震（広義の余震）は誘発地震活動まで含めます。また、体に感じないけれども観測でわかる小さな地震（M1～4くらい）の活動も含めて余震とみなします。その定義からすると、今回の地震は東北沖地震の余震の1つです。3.11の影響、すなわち余震の継続時間はまだまだ長く続きます。ただし、場所によってその影響期間が異なっていて、東北沖地震によって誘発された富士山近傍や伊豆の地震活動は1ヵ月程度で終わりましたが、会津（喜多方付近）や秋田県南部、福島県浜通り、千葉県銚子付近などでは全く終わる気配を見せません。傾向を分析する限り数年～数十年以上は続くようです（あくまで小さい地震の観測結果）。小さな地震と大きな地震の割合（比）は統計学におおよそ一定なので、小さい地震がまだ多い状態というのは、大きい地震も起こりやすいことを示しています。まだまだ注意が必要です。

(災害理学研究部門 遠田晋次教授)